

ほっとサロン虫にじ

通信

2020. 1. 17

がん患者さんやご家族の皆様が病気や暮らしなど気になること、
相談したいことなど、お話ができる場です。

今回のテーマ

『がんと生活』

～家事や仕事の工夫を話し合おう～



記：医師事務作業補助者 河本百合子

講師：がん看護専門看護師 上田佳奈先生

がん患者さんの生活の中で出現する悩みや負担に焦点をあて、当院がん看護専門看護師の上田看護師が「がんと生活」をテーマにお話しました。

仕事と治療の両立について

病気が分かった時、仕事と治療の両立で悩まれ、退職や廃業を選択される方も居られるようです。国は対策として企業と医療機関の両方で仕事をする方を支援する動きを始めており、仕事と治療の両立は可能であることが説明されました。

企業では、配置転換や相談窓口を設けるなどサポート体制が整いつつあること、当院でもハローワークと協働し、新しく仕事を探す方や仕事を継続するための支援を行っていることが紹介されました。

家事の工夫

治療により手足のしびれや腕の動かしにくさなどが出ることがあります。そんな時に役に立つ、料理の便利グッズや洗濯の工夫などの紹介がありました。参加された方と実際に困っていることを話し合い、発想の転換をすることで気持ちが楽になることがわかりました。

治療による見た目の変化の工夫

治療による見た目の変化のひとつに脱毛があります。ウィッグは様々な価格のものがあり、どれを購入すればよいか悩まれる方が多いようです。

今回は3つの価格帯のウィッグを実際に触っていただき、値段あてクイズをしました。外観や触感だけでは価格の違いが分からなかったことから、自分の気に入ったものが一番であることが実感できました。

多くの情報が紹介されましたが、その中で無理なくご自分にあった方法や考え方を選ぶことが最良だということでした。

気になる情報がありましたら、がん相談支援センターまでお気軽にお問い合わせください。



独立行政法人 国立病院機構
岩国医療センター

【お問合せ先】 地域医療連携室 0827-35-5645